



**新入会員** club Juliet  
佐藤 春奈君

誕生月 青山伸一君 村田久志君 幹事報告 小野寺佳克君

## 会長挨拶 会長 鈴木孝純君

今週末の 4 月 18 日 (土) は早くも我がクラブの創立 60 周年記念式典・祝賀会開催となります。準備も迫り込みとなりましたが、盛会裡に終わることが出来ますよう、皆様のご協力、よろしくお願い致します。

先週は福鮎さんにて「桜を楽しむ会」の夜例会を開催致しました。鶴岡公園の桜も満開を迎え、多くの人で賑わっていましたが、今週は桜吹雪が舞い踊る日々になりそうです。

桜はかつて農耕行事と密接な関係があったようです。春は、山から神様が里に下りて来て桜に宿って農耕が順調にいくように見守ってくれる季節と考えられ、農村の人々は桜の花の咲き具合を見てその年の豊凶を占ったようです。そして、樹下に食物や酒を供えて豊作の祈願をしました。これが花見の起源と考えられています。

さて、桜といえば「ソメイヨシノ」です。この桜は葉より先に花が咲き、満開に咲き誇った時の華やかさに、私たちは大きな高揚感を覚えます。

ソメイヨシノは江戸時代末期に染井村 (現在の東京都豊島区駒込) の植木職人が、接ぎ木の山桜の一種を吉野桜と命名して売っていましたが、実は大和の吉野の桜とは品種が異なっていたとのことで、その地名を取って「染井吉野」と命名したのが始まりといわれています。

桜の開花のメカニズムには諸説がありますが、冬の寒さが不可欠です。桜の花芽 (生長して将来花になる芽) は、前年の夏に形成され、その後、葉でつくられた成長抑制ホ

ルモンによって花芽は休眠状態になります。しかし、秋から冬にかけて、一定期間、低温にさらされることで眠りから覚め (休眠打破)、開花の準備を始めます。そして、春を迎え、気温の上昇とともに硬かった花芽が徐々に膨らみ、そのピークをむかえると開花することになります。常夏の国では桜はきれいな花を咲かせず、四季のはっきりした日本だからこそ華やかな花を咲かせるのです。このような寒苦を経て咲きほころぶ桜の花の、華やかとともに瞬時に吹雪のごとく散りゆく儚さは人の命にも譬えられ、武士道に通ずる潔さと、自然と人事の無常を連想させてくれます。この移り変わりこそが日本人の心を惹きつけてやまない所以であると思います。

桜はまた、昔の大学合格電報の一文としても使われました。合否を待っている受験生に対して、実際の開花より一足早く「サクラ サク」と合格の知らせを伝えたわけでした。一方、不合格は「サクラ チル」で来季の開花に期待を込めた潔さを示したのです。

何はともあれ、厳しい冬を耐えてここぞとばかり咲く桜は、私たちに躍動感を与え、新たな試練に立ち向かう意欲をかきたててくれているのではないのでしょうか。



鈴木孝純会長 春奈さん入会おめでとうございます。

小野寺佳克君 鶴岡ゴールドマリーナクラブの 50 周年を迎えることができました。

池田徳博君 春奈さん入会おめでとうございます。

早坂剛君 60 周年記念式典力を持ち寄って成功しますようお祈りしスマイルします。

阿部悦子君 高校のクラス会で古希のお祝いをご祈祷し直会してきました。他県からも参加あり楽しく過しました。

芝田光明君 60 周年おめでとうございます。新入会員おめでとう！

